

第67回青少年読書感想文コンクール課題図書紹介



課題図書とは、本の専門家が新しく出版された本の中から、学年に合わせて読んでほしい本を選んだものです。今年度の課題図書は図書集会でも紹介されたこの3冊です。

紙面の関係上、紹介文は集会の内容から一部省略してあります。

牧野富太郎 日本植物学の父

清水 洋美 作 (汐文社)



みなさんには、夢中になれることがありますか？そしてそれは何ですか？これから紹介する本は、好きなことに94年の人生のほぼすべてをかけたある人物のノンフィクションです。

牧野富太郎は江戸時代の末期・土佐の佐川村で生まれました。物心つく前から好きだったもの、それは「野の草木や花」です。植物の「時を知らせ、花を咲かせ、実りに合わせて姿をかえる不思議」「たくさんの種類があり、自分だけの花や葉を持っている不思議」に魅了された富太郎はその世界にどっぷりはまっています。そんな富太郎にとっておもしろくない場所は「学校」でした。なんと小学校2年生で中退してしまいます。「一生を植物学に捧げたい」と思うようになった富太郎の人生はいつも波瀾万丈でした。とんでもないエピソードもたくさんです。植物にない人も、富太郎の人生を追いかけるとページがとまらなくなります。

(紹介文作成 中込 杏果さん 望月陽喜さん)
(発表者 中込 杏果さん)

この夏、読書感想文にチャレンジしませんか？
対象図書は、

「自由読書」と「課題読書」のどちらか。

○「自由読書」

自由に選んだ図書、フィクション、ノンフィクションを問いません。ただし、教科書や副読本、雑誌などは認められていません。

○「課題読書」

中学生はこのおたよりで紹介されている3冊が対象。3冊の中から1冊選んでください。

○用紙・字数

原稿用紙を使用。本文2,000字以内。

(400字詰め原稿用紙5枚以内)



図書委員会・集会担当のメンバーです。

2年連続で放送による集会となってしまいましたが、本の魅力が伝わるように、一生懸命がんばりました！図書委員のメッセージが届きましたか？

with you 濱野 京子 作 (くもん出版)



主人公の悠人(ゆうと)は中学3年生。受験勉強や家庭の問題も重なって、悶々(もんもん)とした日々を過ごしていました。そんなある夜、ランニングの途中で立ち寄った公園で朱音(あかね)と出会います。どこか寂しそうな朱音。はじめはぎこちないやり取りを交わす二人でしたが、共通する何かを感じ合い、いつしか夜の公園で会うことがお互いの日常となっていきました。

しかし、朱音からある告白を受け、悠人は衝撃を受けます。そして「同情されたくないから会うのをやめよう。」とも言われます。この二人はこれから、どうなるのでしょうか。「ヤングケアラー」問題を理解したり、「誰かを大切に思うこと」を学ぶことができる本です。

(紹介文作成 遠藤 爽夏さん・深沢 修平さん)

(発表者 中沢 優来さん・片田 彩恵さん)



アーニャは、きっと来る マイケル・モーパーゴ 作 佐藤 未果夢 訳

(評論社)

この本を読んで驚いた事実！それは、題名のアーニャが最後の一行しか登場しないことです。いったいどういうことでしょうか。少しだけあらすじを紹介します。舞台は第二次世界大戦中のフランスの山間部。この村に住む羊飼いの12歳少年ジョーは家族とのんびりと暮らしていました。しかし見知らぬ男ユダヤ人のベンジャミンと知り合い、重大な秘密を持ってしまいます。それはユダヤ人の子どもたちを隣の国、スペインに逃亡させる計画です。当時の世界でユダヤ人を助けることは命をかけた行動。村に駐屯したドイツ兵の警備も次第に厳しくなり、ついには、秘密は村人みんなの知るところとなります。迫害から逃げてきたユダヤ人の子どもたちは、どうなるのか、秘密を知った村人たちのとった行動とは……。

ハッピーエンドか、バッドエンドか、そしてアーニャの運命は？ハラハラドキドキ、平和の尊さを学べる本です。

(紹介文作成/発表者 片田光希さん 中村未侑さん 伊藤千叶さん)